新京日日新聞
夕刊
十二月三日（日）

昭和八年の回顧（三）
兒童の洪水に
各學校とも忽ち收容難の悲鳴
増改築も燒石に水

附屬地人口の増加は當然子弟の飛躍的な増加を來たした、從來の商業、高女、室町、西廣場四校の設備そのまゝでは到底日本人の子弟全部を收容するわけにはゆかない、そこで第一に問題になつたのは中學校の新設問題だつた、この問題は事變後滿洲國の成立とゝもに當然起るべき問題であつた即ち小學兒童の増加は率ひて中等學生の増加を意味する而かも首都新京への躍進は家庭的事情からいつてもたゞ特種な商業一校に止めるわけにはゆかない、果然中學新設が全市民の輿論となつて現はれ其運動が始められたのであるが、この間室町西廣場兩校父兄會代表が八田副總裁訪問となり當時の本紙を賑はしたものだ、そうしてこれがいよ〳〵正式に決定されたのは本年一月十四日のことで當日滿鐵本社では重役會を開いた結果、兎も角本年四月一日から假校舍で授業を始めることになつた、土地の選定、校舍の新築などはその後によつて決められたが校舍の方は本年は間に合はず唯だ基礎工事に止め來春解氷期を待つて第一期工事に入る段取である、何にしろ新京中學校の開校は當然の成行であつたとは云へ父兄達の久しき要望が容れられたものであり新京市民として永久に記念すべきものであらう

ロ――ロ

新京中學の新設によつて男子中等學校の入學者は二分されることゝなり、收容難も幾分緩和されるに至つたがさて女子中等學校は如何？新京高女たゞ一校では今のところ到底完全に收容し得べくもない、そこで更に今一校の増設が父兄の要望するところとなつてゐるが、未だ具体化するまでには至らず來春は一學級（五十名）の増級に止められる模樣で何れ來年度又は遲くも再來年度までには何とかならうといふものだ、更に初等學校についていへばこれは〳〵兒童の大洪水だ、小學校も普通學校も公學校も同樣である例へば室町校の如き過去最も多い時でも僅かに八百名内外に過ぎなかつたのが事變後に至つて新入、轉入兒童の驚くべき殺到振りを見るに至り、現在では千七百余名といふこれはまた途方もない増加である こんなことは滿洲はおろか日本内地でも前例はあるまいといはれてゐるが西廣場校の如きも室町校程ではないが趨勢には變りなくかくて起つたのは兩小學校の増改築であつた即ち室町校は四萬七千圓、西廣場校は四萬六千圓の經費を以て今春解氷期とゝもに工事に着手したが漸く兩校とも最近竣工を告ぐるに至つた、さて切角増築は出來ても兒童の増加はより急進的で既に室町校の如き十一月一日から新入生は一切受付けぬといふ嚴重なおたつしである、さまれ本年の各學校は中等學校といはず初等學校といはず大入り滿員でありこれが爲に教育上に及ぼした影響も尠くないが第三小學校の新設も來春着手に決定、第二學期（九月）頃から間に合せる方針でそれ迄は現狀によるほかはないが、たとひ第三校が出來ても更に第四校の新設が差し迫る事になり生徒兒童の激増による學校當局者の苦心も並大抵ではない

正副總裁との會見を了へ
伊藤幹事長コンミユニケ發表

【大連二日發國通】滿鐵改組問題に關し正副總裁との會見を了へた伊藤幹事長は二日午後七時左の如きコンミユニケを發表した

本日正副總裁の招待を受けました今朝提出せる滿洲經濟開發に關する特別委員會の一結論につき話を聽取されたので私共は之を詳細說明すると共に種々意見を開陳しました、正副總裁は社員會の國家的立場に基き努力し來つた眞意を諒解されてゐるので私共の提出した意見はよく諒解され遵守される旨承りました、我々としても正副總裁はじめ重役諸公がこの問題を國家的見地より善處すべく努力せられつゝあることはよく承知して居りますが殊に本日正副總裁より色々腹藏なき御話を伺ひその趣旨をよく諒解した次第であります、我々社員會としては此の際滿鐵幹部に對し信頼と期待を以て然るべしとの感を深めました、又滿鐵としての意見提出の際は社員會の意氣が充分反映せらるべきものと信じてゐます、從つて我々は重役の善處に期待して充分事態の推移を靜觀したいと考へてゐるのでありますが此の事は不日緊急幹事會を開催して報告するつもりです

吉林電話局
近く竣工

【吉林二日發國通】日滿電信電話會社の手により吉林驛前に建築中の自動電話交換局はいよ〳〵近く竣工する豫定で、來春早々から市民待望の通話が開始される筈である

日滿土建協會で
工事座談會開催

日滿土建協會では來る九日午後四時より新京滿洲土建協會に於て工事座談會を開催する事に決定關東軍、關東廳、滿洲國、滿鐵其他企業者及び日滿土建協會役員、關係有力者を網羅し昭和七、八兩年度の經驗を資料として來るべき昭和九年度の工事方針を協議する事となつたが本年の工事殷盛を極めたると共に職工の募集工事材料の購買等は豫想外の困難を極め新京に於ける各請負工事の大部分は欠損を免れざりしに鑑み請負業者側より關係當局に陳情する模樣である

國民負擔の輕減を圖る
政府の諸業績

全滿豐作飢饉に惱む農民負擔輕減を圖るべく制定された出產糧石税の施行は適時の救濟策として各方面の好評を博して居るが、滿洲國政府が建國以來民力の恢復及び經濟界の梗塞打開のため實施せる重要租税の減免數は實に十餘に上り、政府が國民負擔輕減に努力し來つたことを立證して居る、減免租税を列擧すれば左の如し

一、滯納田賦、營業の全免（元年十一月）
一、元年度分田賦の半減
一、警燈畝捐の廢止（元年十二月）
一、元年十二月より二年六月迄契税罰則の適法停止
一、熱河禁煙特税（阿片栽培税）を五圓に輕減
一、熱河蒙鹽の百斤五圓に引下げ、及海鹽の重復課税廢止
一、熱河貨物並牲畜税中過路税及省議會經費廢止
一、熱河省に於ける生活必需品輸入税の三分二輕減（本年九月末迄）
一、票照費の廢止
一、奉天省營業税率の減税、統一
一、鹽斤食戶捐及禁煙罰金全免
一、熱河省及興安西分省に於ける滯納田賦及附加雜欵免除
一、出產糧石法の制定、減税
一、吉林省鎖鴨糧石斗税廢止
一、出產税重複課税廢止

新辯護士法の施行で
介辯業者關東廳に嘆願

【大連二日發國通】三年後に施行さるべき改正辯護士法の實施と同時に介辯業は法律により認められなくなるので大連在住の介辯業者は一日夜會合、協議の結果近く代表者が關東廳に出頭、實施に際して取扱ひ緩和方を嘆願するところあつた

滿洲國商標法に就て（二）

滿洲國實業部總務司長 高橋康順

商標法は去る九月二十一日敕令第七十七號を以て公布せられ、實施日たる去る十一月二十日より既に其の施行を爲し其の當日は實に九千五百五十八件の驚くべき多數の商標登錄出願を見たるなり此の實狀は如何に商標登錄の必要なるかを雄辯に物語れるものなり

商標は勿論之を商人側よりみると、自己商品と他人商品とを識別せしむるが爲に使用せらるるものであり、他面一般顧客の側よりすれば其の商標に依りて直に該商品の出所即ち製造、販賣、取扱が何人に依りて經營せらるるものなるかを分明ならしむるものである

此點に於てか商標の商品の内容實質に對する顧客の信用を維持せしむるの效用大なるものありと謂ふべきなり

從而本法に於ける商標保護の精神も此の意味に基くものなり

商標法第一條に「營業として自己の生產、製造、加工、選擇、證明取扱又は販賣する商品なることを表彰する爲商標を專用せむとする者は商標の登錄を受くることを得」と規定しあるは即ち實に前記の如く商人側の需要を容れたるものにして、第二條第十項及第十一項の「商品の誤認又は混同を生ぜしむる虞あるもの及他人の登錄商標と同一又は類似にして同種の商品に使用するものの商標は之を登錄せず」との規定は前者即ち商人の專用商標權を保護し且不正競爭を防止すると共に後者即ち一般顧客をして其の商標に依り商品の識別を容易ならしむると同時に其の商品に對する信用購買を維持せしめんとするの精神に外ならず

我滿洲國商標法と友邦日本國商標法との對比上特に注意すべきは第一に日本の先願主義と異り、最先使用主義を採用したることと、第二平等主義を採りたることと、第三は手續を簡易ならしめたることと是なり、

第一の最先使用主義とは同種の商品に使用すべき同一又は類似の商標に付登錄出願者二人以上ある場合に於ては最先使用者の出願に限り之を登錄せんとするの主義なり、何故に先使用主義を採用したるかと云ふに、此は商標專用權の完全なる保護の目的より見て、理論上寧ろ當然のことにして、然も歐米及中華民國等の諸國に於ても此の最先使用主義を採用し居る現狀に鑑みて、我國も亦之を採用するに至れるなり

日滿悲曲 生命線を行く（三十一）
（華上演 映）

國友雄吉（荒川芳三郎 畫）

正しい慾を

「兄さん！ そんな冷淡なことを言はないで、お願ひします。氏家の爲を思つたら、どうか、佛一兄さんを說いて、相續をするやうにしてください――ねえ、兄さん。僕は只、兄さんから、承知した、といふ返辭さへ聞くことが出來たら、もうそれで十分なんです――佛一兄さんの攻擊なら、いまゝで姊さんに、耳の痛くなるほど聞かされたんだから――」

と、久彌は、豫防線を張つた。

「はゝゝ、そんな勝手な話があるかい――だが、君はまだ若いんだからね、マア〳〵それでも宜いさ。しかし、僕だつて、好き好んで佛一君の、攻擊をするんぢやない――でも、いくら公平な目でみても、佛一君を、申し分の無い氏家の相續者であると認める理由が、どうしても、發見されないぢやないか」

「理由ですか。ありますとも。大いにあります。佛一兄さんを相續者とするといつたお父さんの遺言。これほど立派な理由は無いぢやありませんか」

久彌は、思はず息をはづませた。邪彥も、思はず半身を椅子から起して、

「君、思ひ違ひをしちゃいかん。お父さんは決して、佛一君を相續人にせよ、と遺言したのではない――ぜ」

さういつた邪彥の言葉こそ、久彌には、驚かざるを得ない言葉であつた。

彼の驚いた顏に、邪彥の冷たい視線がチラリと走つた。

「お父さんは、相續のことに就いては、牧原さんに一任して置いたから、すべて牧原さんに御相談をしろと、遺言された筈であつたね」

「では、牧原さんが承知なら、それで宜いんだ。牧原さんは、無論お父さんの遺志を尊重して、佛一兄さんに贊成をしてくれるにきまつてゐます」

「ところが、強ち、さうでもないらしいぜ。君の想像と、事實とはだいぶん違つてゐるんだ」

「エツ。牧原さんまでが、佛一兄さんに、反對なんですか？」

「牧原さんが反對したつて、別に怪しむに當らないさ。所謂十目の見るところで、誰が見ても、やつぱり雪は白いもので墨は黑いものだからね」

「墨――？ 佛一兄さんが、墨！」

佛一兄さんに反對する奴こそ、みんな墨だ！ と、口まで出かゝつた憤慨の叫びを、久彌は辛うじて堪へた。

邪彥は、誇らしげに、にこ〳〵しながら、

「君は學生だ。こんな問題には、あまり立ち入らない方が宜い。皆は決して、君のために、惡いやうにはしないから――大體君は、あまり慾を知らないから困る」

久彌は突然、椅子を蹴つて立上つた。

「僕、失敬します！」

はげしい權幕に、邪彥も、さすがに驚いた。

「どうしたい。まあ、宜いぢやないか、君――」

「僕は――僕だつて慾は知つてゐる――が、正しい慾を望むんだ。間違つた慾なんか、まつぴら御免です！」

久彌が、席を蹴つて歸らうとする處へ、佐紀子が、麥酒を運んで來た。

「まあ、どうしたの、おまへ。もう歸るの？」

彼女は呆れながら、良人と弟の顏を見くらべた。

「え、失敬します！」

プリ〳〵しながら、久彌は玄關へ急いだ。

「お待ち――ねえ、お待ちつてば――」

佐紀子が、それを追つて來た。火のやうに熱してゐる久彌の耳へ、姊の言葉なんか、ろくにはいらなかつたが、奧から漏れて來る邪彥の笑ひ聲だけが嘲るやうに、はつきりと聞えて來た。

彼は、一時にくわつとなつてしまつた。そして帽子を驚摑みにして、鐵砲玉のやうに飛出した。戶外は、すつかり夜であつた。

豫算問題解決

政府一路議會へ

（東京二日發國通）政府は豫算案も圓滿に成立し茲に愈よ來議會に臨む事となつたので齋藤首相は來週中に鈴木、若槻兩總裁を訪問、豫算案につき說明諒解を求め、更に週末には西園寺公を訪問して來議會に臨むについての決意を述べて懇談し、議會に臨む準備をなす事になつた

明年度豫算概算

廿一億一千百五十三萬七千圓

（東京二日發國通）計數整理で多少の異同はあるかも知れぬが明年度豫算の歲出入は概算左の通りである

（單位千圓）

項目	金額
△歲入	
經常部	一、二四八、〇二九
臨時費	八六三、五〇七
計	二、一一一、五三六
△臨時部內譯	
普通歲入	五八、七四四
公債金	七八五、三三五
前年度剩餘金繰入	一九、四二七
計	八六三、五〇六
△歲出	
經常部	一、二四七、一〇五
臨時部	八六四、四三一
計	二、一一一、五三六

更に主なる省の經常部並びに臨時部概算決定額左の如し

（單位千圓）

省	部	新規增加額	金額
皇室費		（新規增加なし）	四、五〇〇
外務省	經常部		一六、九六〇
	臨時部	一、八七七	一〇、七一〇
	計	八、七四二	二七、六七〇
陸軍省	經常部	三、四七一	一六八、五八七
	臨時部	二四五、二九一	二八〇、八七四
	計		四四九、四六一
海軍省	經常部	二五、二一〇	一九九、四三七
	臨時部	（二〇九、三八一）	二八八、五三四
	計		四八七、九七一
農林省	經常部	七三九	二九、七三四
	臨時部	一八、九四二	五七、九七五
	計		八七、七〇九

海軍側妥協の經緯

（東京二日發國通）豫算閣議で復活要求千五百萬圓を承認の結果海軍省豫算承認總額は四億八千七百萬圓となり、海軍省の最少限度要求額五億圓に尙千三百萬圓不足であるが海軍省では千三百萬圓程度の要求に依つて內閣を危くするは好まずとし、要は國防の必要性を閣僚各位が認識せばそれでよいといふことになり妥協した譯である

首相參內

豫算案決定上奏

（東京二日發國通）齋藤首相は二日午後一時宮中に參內して天皇陛下に拜謁し、豫算案決定を委曲上奏し同四十分退出した

明年度公債發行額

九億圓

（東京二日發國通）明年度の一般會計公債發行額は七億八千五百四十萬六千圓にして、この內譯左の通り（單位千圓）

項目	金額
震災善後公債	一三、二三六
道路公債	六、三三六
滿洲事件費公債	一三六、七五五
歲入缺陷補塡公債	六一〇、〇九九
計	七八五、四〇六

（但し計數整理の結果異動を免れず）尙特別會計分公債發行額は大体一億二千萬圓の豫定であるから明年度の公債發行額合計は九億圓となり、八年度より約一億圓の減少となる譯である

興安省の産業狀況

最近著々諸制度の整備を見てゐる興安省の產業に就ては目下各方面で期待されてゐるが大体の狀況は左の如くである

興安省に於る產業は牧、農最も優位で天然特產物としては金、石炭、鑛油、鹽之に次ぎ漁業等も近年益々有望視されて居り、殊に大興安嶺山脈地帶に展開する一大森林は千古の富源を提供してゐる、併し乍ら生產物資の比較的豐富なるにも拘らず工業には何等見るべきものなく僅かに地方民の需要に應ずる小工業が存在するに過ぎない、以下項を分けて概況を記すれば左の如くである

△畜產概況

イ東分省　近年耕作地の增加並に昨年來被りたる匪賊の被害に依り、家畜數を著しく減少、頭數は南部に最も多く大略緬羊一萬二千頭、山羊三千頭、牛一萬頭、馬一萬五千頭である

ロ南分省　南部地方殊に匪賊の被害多く實在數は未了であるが、大略左の如くである

緬羊廿四萬一千五百頭、牛十五萬四千頭、山羊十萬頭、馬（騾、驢も含む）九萬四千頭、駱駝二百頭

ハ西分省　近年南方より農耕の侵入するに從ひ純牧畜々減少する傾向が濃厚なるも畜產は依然として盛んで、殊に巴林左翼旗より阿魯科爾沁旗方面に於る馬の飼育は見る可きものがある、頭數概算は緬羊六萬九千五百頭を筆頭に山羊二萬八千頭、牛九萬三千頭、馬（騾、驢を含む）五萬四千頭、駱駝四千七百頭

ニ北分省　人口の僅少なるにも拘らず家畜數省內に於て最優位を占め、住民の大半が牧畜を以て生業とする純牧畜地帶で大約頭數は緬羊九十二萬五千頭、山羊九萬一千頭、牛十三萬四千七百頭、馬十一萬五千頭、駱駝四千九百六十四頭と云ふ驚異的數字を示し、北滿鐵路沿線には漢露人飼養の豚及騾ゝ相當數に達してゐる

△農業概況

イ東分省　耕地面積は大約既耕地六一二、六〇平方粁、未耕地一一、四八九、七〇平方粁、諾敏河及其支流々域を主とし阿榮旗巴彥旗の各河川沿岸にも多少の耕地を有してゐる、作物は谷子最優良で麥、小麥、黃豆、高粱、玉蜀黍を產出する、南部地方は漢人、北方地方に行くに從ひ蒙人從業を增加する現狀である

ロ南分省　既耕地面積大約一〇、八四一、四五平方粁、未耕地一二、四三七、七五平方粁、北部山脈地方を除いて耕地は比較的普遍して居り特に科爾沁右翼中旗以南は耕地最も豐富である、作物は主として高粱、谷子、黍、大豆、包米、小麥、之に次ぎ瓜子兒の產出に亦著名である、漢人、蒙人共に之に從事し又管內水田經營の朝鮮人數は約二〇〇〇人である

ハ西分省　大約既耕地二、二六八平方粁、未耕地九、九〇〇平方粁と推算され、開墾地見込地面積は大略一二〇〇〇平方粁、作物の主なるものは谷子、蕎麥、瓜子兒、高粱、大豆、克什克騰旗地方に麥（燕麥）小麥又は開魯、林西、魯北、天山、林東、經棚地方等に於ては芥子の栽培が行はれてゐる

二、北分省　耕地面積は大約既耕地三四一、七〇平方キロ未耕地一三、七一六、七〇平方キロ、北滿鐵道沿線、額爾克、訥河流域地方及び三河流域地方を主とし、作物は滿鐵路沿線に產出する蔬菜類を筆頭に額爾克、訥河及三河流域地方は小麥燕麥、他に自家用蔬菜をも栽培してゐる、額爾克、訥河流域地方は露滿人多く農耕に從事し、三河地方には露人の農牧に從事する者約五千人を算してゐる

△鑛業概況

省內地下埋藏鑛產の種類及埋藏量は調査未了にて不詳なるも石炭、鑛物鑛油の埋藏力なからざるものゝ如く適當なる科學的施設と交通に依れば盛んなる將來を豫想される

東分省內に於ては巴彥旗に甘河炭鑛及同旗和爾屯に水晶鑛あるも、現在休止中、西分省內には札魯特右翼旗に炭坑、巴林左翼旗に鐵鑛あるものの如く、又水晶を產出する南分省內には科爾沁右翼前旗二關索口地方に炭坑を有し、索倫山には石炭の露頭を見、北滿鐵路經營の札賚諾炭鑛あり又滿洲里の西南十八キロには察罕諾爾炭鑛あるも質不良で量少きため現在休止中、尚吉拉河沿岸及奇乾地方各所には砂金の採集中なり

△漁業概況

省內に於ける漁業地區は北分省の呼倫池を主とし、滿洲里を去る東南約十六キロの位置にあり周圍百七十キロ、湖內に產する魚族は鯉、鮒（ふな）を最優位に鯰、白魚等も尠からず、之等は大部分滿洲里市場で取引され年產額百六十萬貫と言はれてゐる

△森林概況　本省內の森林は大興安嶺及其支脈の地帶であつて立木地は大約東分省內約五八、八〇〇平方キロ西分省內約一、二〇〇平方キロ、南分省內約八、〇〇〇平方キロ及び北分省內約五三、二〇〇平方キロ、主として「タフリカ唐」「白樺」其他「トロの木」類、柳「ハンの木類（赤楊）」等の樹種が數へられる

△鹽　主として北分省內の鹽湖より採取、事變前年產約二、三十萬貫、其他「アルカリ」地帶により時期により採集するも採鹽利用の程度には遠く及ばない——

國境露人の入滿者

滿露國境氷結後に於ける露人の入滿者は二十名であるが、今春以來五百人を算し、何れもソ聯內の窮乏と官憲の逼迫を訴へ、王道樂土滿洲國を謳歌してゐる

豫算圓滿解決して

藏、海兩相語る

大角海相語る

（東京二日發國通）十日間に亘る豫算閣議を無事に終へて大角海相は感激し乍ら左の如く語つた

永い間苦心をして本日遂に解決した今日迄の經過については幾多の迂余曲折はあつたが各相とも充分の諒解の下に審議して呉れたことに對しては感激に堪へない、今日追加承認され千五百萬圓の財源の中千萬圓は荒木陸相の絕大なる好意と英斷によつて滿洲事件費として大藏省の保留してゐるものゝ中から割愛されたもので、五百萬圓は藏相が最後に承認して呉れたものであるから、藏相の苦心に對しても感謝の意を表し度い、此の上は上御一人に對し國防の充實に全海軍は全力を盡したいと思つてゐる

高橋藏相談

今回の豫算編成に當つて最も苦心したところは國防と財政を如何にして調和するかと云ふことであつて軍事費に就いては五相會議の結果や內政關係の情勢を考慮してその殆んど全部を承認する他なかつたが各省の要求はこれがために非常な犧牲を拂はなければならなかつた、これに依り辛うじて財政の調和を得やうと期待して居た、再査定は現在並びに將來を考慮して讓れるところまで讓つた最後案だから我輩としてはこれが通らない以上財政の責任を負ふことが出來ないと決心して居たのであるが荒木陸相が特に事態收拾のため滿洲事件費準備金から海軍の方へ融通することを承認し、首相からこの上五百萬圓を出せば海軍は滿足するとて懇請されるので計畫を越へて止むなく更に五百萬圓を大藏省から出すことに同意した譯である

承認外の艦艇製造

將來の貫徹を期す

—大角海相釘を打つ—

（東京二日發國通）大角海相が二日の豫算閣議で讀み上げて各閣僚の承認を得た海軍豫算に關する留保條項全文は左の如くである

今回要求の第二次補充計畫中承認せられたもの以外の艦艇製造については將來財政其他各般の事情を考慮しなるべく速かに之が實現を圖ることとす、尚今回承認された豫算の單價は出來得る限り切り詰めたるを以て工事續行上不足を來す場合に於ては補塡のため豫算の追加をなすものとす

主計局發表

豫算裁斷大綱

（東京二日發國通）大藏省主計局は二日閣議で成立を見た豫算裁斷內容を左の如く發表した

一、大藏省所管の滿洲事件豫備費は千萬圓を減額す

一、海軍省經費を九年度に限り臨時部に於て千五百萬圓を增加する

一、各省の查定の範圍での費目繰替へは認む

一、公債費の計數整理は別に行ふ

黄郛の活動を封ず

政整會改組遂に斷行さる

（北平二日發國通）行政院駐平政務整理委員會の改組は昨日愈よ斷行されたが今次の改革によつて從來秘書處、政務處、財務處の三處に分れてゐた同會は政務處、財務處を廢し秘書處、參議廳及調查處の三となり、新に河北建設討論會が設けられた譯であるが、今次の改組は全く中央の政整會に對する骨拔き策に依るもので政整會は極度にその權限を縮少されたものである、改組による各處主任は

一、參議廳　總參議　王克敏
　參議　吳家象

二、秘書處　處長　何其鞏

三、調查處　主任　徐鼎年

四、河北建設委員會
　常務委員　王樹翰　湯爾和　張志潭

であるが華北建設討論會も殆ど名譽職として人名を並べてあるだけで且つ政整會の經費は一ケ月六萬七千五百圓に過ぎず其の上改組によつて華北に於ける外交權、財政權を失つた政整會は假令黄郛が如何に努力しても事實上全く何事も爲し得ない狀態に置かれて居り、今後積極的活動は封じられたものと觀られてゐる

廣東側の誤解一掃の爲

蔡廷楷本部を福州に移す

（上海二日發國通）蔡廷楷は從來廣東に近き漳州に本部を置いて十九路軍の總指揮に當つて居たが、廣東側の誤解を一掃するため三十日十九路軍本部を漳州より福州に移し、漳州にはその行營を設けることとした、一方廣東側としても一日の政務委員會懇談會に於て福建問題に對してはしばらく靜觀的態度を採ることを申し合せた模樣であるから廣東福建省境に於て軍事的衝突を惹起するが如きことは先づなからうと觀られて居る

馮玉祥

南京政府の抱込みを拒否

（濟南二日發國通）南京政府は目下泰山に在る馮玉祥に對し再三南京入りを勸め、以て今の福建獨立政府に對する策動防止すべく努力してゐるが馮玉祥は南京政府の抱き込み運動を拒否する態度をとつてゐる

日本品の殺到に

英國遂に和蘭を引張り出す

（ロンドン二日發國通）一日日本品の壓倒的進出に色を失つた英國實業者は日本品に對する英國單獨の對抗策を以て足れりとせず、同じ苦境にあえぐオランダ實業者と共同戰線を張り日本品防止に乘出すべく兩者の間に協議成り愈よ蘭當局者協會を二日からヘーグで開催することに決定し英國側代表として英國產業聯合會代表六名が一日ロンドンを出發、オランダに向つた、ヘーグに於る協議會ではオランダ產業聯合會代表と英國及びオランダ兩國の貿易上の利害問題を討議し特に兩國の本國並に南洋その他に於ける各植民地での日本品の競爭影響を審議しつゝ對策を講ずる豫定で殊に蘭領東印度の市場が問題となる譯である

滿洲國の

稅制固まる

滿洲國政府の財政收入は全滿治安維持の確保と幣制統一並に金融統制に依る國民經濟生活基礎確立により增收を期待され、財政基礎工作の完成とともに今後主力を全滿稅制の根本的改正に注ぎ國民負擔の輕減及資源開發を目標に過去の惡稅を整理し、合理的なる新稅制を樹立すべく全滿稅務監督署及稅捐局を總動員して特別稅制調査を行ひつつあるが、滿洲國現在の躍進振りより推測すれば今後四ケ年にして國民の實質的負擔を增加することなくして租稅及專賣益金國庫收入の二億臺突破は容易なるものとされ洋々たる滿洲國財政の前途を裏書するものである

首都警察

廳を整備

民政部警務司に於て豫て首都警察廳管內の警察力充實に關し審議中であつたが、該案の確定を見るに至つた即ち從來直屬たりし新京游動警察隊を改編し之を首都警察廳に合流せしむることに決定し首都警察廳では目下之が人員配置に忙殺されて居る、首都警察廳による警察の統制實現の曉は首都新京は勿論長春縣一帶の治安は一層確立されるので多大な期待をもつて各方面から注視されて居る

第十三回

民團代表定期懇談會

來る五日午後一時より四平街公會堂談話室に於て第十三回民團代表定期懇談會議題に關する協議會が開催されるが議題は左記の通りである

一、邦人投資に關する權利確保に關する件

二、南滿鐵道附屬地以外に商工移民を招致し之が保護獎勵の方法を講ぜられ度き件

三、國籍確認に關する件

四、農民救濟に關する件

四平街

十一月現在 特產在貨

十一月末に於ける當地日滿特產商聯合會調查に依る特產在貨は合計八百三十七車で、主なる品目數量は左の如し（單位車）

品目	數量	品目	數量
大豆	一五五	小麻子	三三
高粱	三一六	芝麻	七四
小米	五一	蘇子	九
谷地	七八	粳米	三
蕎麥	三七	粳子	一五
吉豆	二六	菉豆	四
大麻子	一五	屑粟	一

馬六頭を奪ふ

去る二十八日午後六時頃桓滿子南方六滿里の申咀子の部落居住の姜興海、王動方に各自拳銃を所持する六名組の怪漢突如現れ家人を脅迫の上馬六頭を強奪し何れかに向つて逃走したと

無免許營業者

一齊取締

四平街署では市內に於ける各種の無免許營業者に對し一日を期し一齊にこれが取締りを實施してゐる

聖旨傳達に

石田侍從武官 來四

在滿將兵へ聖旨傳達のため御差遣の石田侍從武官は四日午前十時五十三分十七列車にて來四するが、午前十一時驛より自動車にて四平街獨立守備隊兵舍に至り傳達式を行ひ午後一時十五分守備隊發同二時十分四齊、同二十五分發十九列車にて北行の御豫定である

當日は市中各戸に國旗を掲揚せられたし

駐支公使館

參事官は

澤田廉三氏に決定

（東京三日發國通）駐支公使館參事官は矢野眞氏のチリー公使赴任以來空席であつたが今回澤田廉三氏が後任に決定し、近く在佛の澤田氏に對し歸朝命令が發せられる筈である

人事往來

▲田村中尉以下〇〇名（高射砲隊）三日午後一時五十五分着大連から

▲喜多教諭外四十名（茨城縣友部中學校視察團）二日午後三時二十五分着哈市から同日午後四時三十分發奉天へ

▲土肥原少將（奉天特務機關長）二日午後四時三十分發奉天へ

▲ゴーマン氏（滿洲里デリーニュース主筆）二日午後十一時發大連へ

▲岩田特務曹長以下〇〇名（關東軍自動車隊）同上奉天へ

▲重田中佐（野砲第〇〇隊）三日午前八時三十分發哈市へ

▲田中中佐（參謀本部第四課）三日午前九時發奉天へ

▲東京天文台辻、外岡兩技師三日朝ハルピンから飛行機で來京國都ホテルへ投宿中

▲豐下製油株式會社々員後藤氏三日午前七時來京國都ホテルへ投宿中

◎商業登記

●株式會社丁字屋商店支店設立（支店）一昭和八年十月日當管內ニ支店ヲ設立シタルニ付登記ス

一商號　株式會社丁字屋商店

一本店　京城府南大門通二丁目百二十三番地

一支店　滿洲　新京老松町四番地

一目的　一、毛織絹麻人絹諸種織物及諸糸洋服其他裁縫物各種纎維品化粧品煙草賣藥簡易醫療器具食料品薪炭靴鞄皮革製品文房具玩具書籍刀劍諸官衙被服器具貴金屬及金屬製品家具什器室內裝飾品木竹製品其他一般商品ノ賣買美粧寫眞撮影其他百貨店營業ニ附帶スル事業　二、前諸項各種商品ノ官公衙及各種法人ノ用達　三、毛綿絹麻人絹諸種織物ノ販賣　四、前諸項ニ關スル一切ノ附帶事業及仲立代理業

一設立年月日　大正十年四月二十一日

一資本ノ總額　金一百萬圓

一一株ノ金額　金五十圓

一各株ニ付拂込タル株金額　金五十圓

一公告ヲ爲ス方法　本會社ノ社頭ニ掲示シテ之ヲ爲ス

一取締役ノ氏名住所
小林源大　京城府南大門通二丁目百二十三番地
小林喜太郎　和歌山縣本宮郡新宮町三百六番地
小林源次郎　津市大門町津千六十八番地
鈴木文次郎　京城府長谷川町六十六番地
建部永吉　京城府大和町三丁目二十六番地

一監查役ノ氏名住所
福永善太郎　釜山府本町二丁目十二番地

一存立の時期　設立ノ日ヨリ滿參十個年

右昭和八年十一月四日登記

●滿洲窯業取得

一昭和八年十一月六日左記ノ商號ヲ取得シタリ
土井鼻生　新京東三條通五十一番地

右昭和八年十一月六日登記

●東洋拓殖株式會社社債發行（支店）

一第九十七回

社債總額　金一百五十萬圓

各社債ノ金額　金一千圓　金一萬圓

社債ノ利率　年四分

社債償還ノ方法及期限　昭和八年十一月二十日ヨリ昭和十三年十月二十日迄据置其後毎年二回四月二十日及十月二十日毎回左記ノ通リ償還シ昭和三十三年十二月二十日迄ニ全額ヲ償還ス但シ本資金ニ依ル貸付金ノ償還高カ左記金額ヲ超過シタルトキハ其ノ超過額モ同時ニ償還スルモノトス

昭和十八年十月迄　金二萬三千圓以上
昭和二十三年十月迄　金一萬九千圓以上
昭和二十八年十月迄　金三萬七千圓以上
昭和二十九年以降　金四萬六千圓以上

各社債ニ付拂込ミタル金額　全額

●新京建築助成株式會社變更

一昭和八年十一月一日左記ノ所ニ本店ヲ移轉ス
新京八島通二十六番地

一支配人選任
支配人ノ氏名住所
川中等　新京老松町六番地一

一主人ノ氏名住所
新京建築助成株式會社　新京八島通三十六番地

一支配人ヲ置キタル場所
新京八島通二十六番地

右昭和八年十一月七日登記

●合資會社設立

一商號　合資會社藤山疊商會

一本店　新京商埠地大經路十六番地

一目的　一、疊製造販賣　二、右ニ附帶スル事業

一設立の年月日　昭和八年十一月八日

一代表社員の氏名　藤山德一

一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
勞務　但此評價格一年金一千圓　無限　藤山德一　新京商埠地大經路十四番地
金一千五百圓　有限　藤山マツエ　同上
金一千五百圓　有限　豐島正　同上

一存立ノ時期　定款作成ノ日ヨリ滿十年

右昭和八年十一月十一日登記

●合資會社設立

一商號　合資會社水間建築事務所

一本店　新京曙町二丁目二十五番地

一目的　一、土木建築請負並ニ設計監督　二、右ニ附帶スル事業

一設立ノ年月日　昭和八年十一月六日

一代表社員ノ氏名　水間德藏

一社員ノ氏名住所出資の種類價格及責任
金五千圓　無限　水間德藏　新京曙町三丁目二番地
金一萬圓　有限　水間若子　同上
金五千圓　有限　西谷千代　奉天稻葉町八番地

一存立ノ時期　定款作成ノ日ヨリ滿三十年

右昭和八年十一月十三日登記

在新京日本帝國總領事館

ゴールへ急ぐ師走 お歳暮には 何を贈りませう 流行とお値段調べ

市中輸入組合加入の呉服洋服店の賣出しに對抗して、新京百貨店開店一週年、品川洋行の一割引誓文拂ひ、バレー商會の棚ざらへ二割引賣り出し等々、年末贈答品冬物品の大賣出し中であるが、年末贈答用品は種々様々で

『先づ』子供服で見ると二圓五十錢位から十九圓位で、十五圓物は十二、三才向きである 先づ六七才位の子供向きで、恥らでないと云へば六、七圓かして、贈答品としては親を喜ばせ、子供を喜ばせる向きもの、子供の帽子も様々で、五十錢、お十錢位の乳兒用から三圓位の子供用まで、一般に一番多く使はれるメリヤスは純毛の中等品で七、八圓からあるが、最上品になると二十圓位になる、綿入り物は二三圓からあるが、一寸贈り物にはならぬ、綿が少い四圓位の物なら贈物となる、セーターも三、四圓から十五圓位になるが、これとても『安物』は綿入りで薄くやはり七八圓から十圓位出さぬと使はれない

呉服類

呉服物は、羽二重友仙羽裏で一丈三尺の三圓位から日節絹で二圓以上、錦紗看尺で、五圓位からあり、娘さんが喜ぶ半襟は安物は二十錢から高いもので三圓以上と云ふところで、小紋看尺等の上等物になると十圓以上で、婦人コート總裏物になると十二三圓から十五圓位ある

文房具類

文房具類組合文具函入五十錢から三圓內外、高級文具セット一圓五十錢から四圓、萬年筆、シャープ鉛筆セット入三圓から十五圓、インクスタンドセット入り五圓內外から十五圓まで、カルタ、トランプ五十錢から二圓まで、クリスマス贈物文具紙入三十九錢から一圓內外クリスマスカード十五 以上一圓內外で

『價格』は昨年より稅金の關係で一割位は總体に高い、一般に上等(高級品)の賣行が良好の見込み、日記としては博文館の實用向きとして五十錢日記、積善館のもの最も賣行き良く、此の外に懐中日記、婦女日記、當用日記等が賣行き良く、値段は何れも內地定價の一割増加の見當である事務用として卓上日記の賣行きは近來最も良く非常に便利で備忘錄ともなる一個特價一圓

貴金屬時計類

最近日本の時計技術も仲々進歩して舶來品に負けぬ時計がいくらでも出來てゐる、贈物としては東京時計をお奬めします、これは十圓前後から廿圓前後の置時計が一番多く出ます値段は昨年暮れと變りなく器具も改良されて立派なもので國產品奬勵の意味からしても東京時計が最適と思ひます、卅圓位で銀製のタバコセット等も一寸良いやうです金の相場が二割も騰つてからはどうも仕様がないが、この頃では中の器具だけ上等品にして側をクロームや白金にするお客様が多い金物は高價だからお客様にはお薦めしません

一般贈答品

又方面を代へて、贈答品向きのもので見ると、銀製(錫)煙草セットとライターの箱入りで十圓、贈つた人が何日までも使はれる上に、長らく『記憶』に殘るので贈りものとしては極上品で、その外婦人用鏡台があるが、体裁の良い物は、十三、四圓から二十圓迄、思ひ切つて洋服タンスにすると、四十圓位から五十六七圓までであるが、これは向きが少い嫌ひがある、罐詰の詰合せ物は約八個から十個取り合せて二圓九十錢—四圓五六十錢迄、果物籠は二圓五十錢から大きい物で四圓位でセロハンで包んだ美麗なものである、又簡易なものでは男物下駄が、桐台で二圓位から女物塗り下駄三圓、フエルト

三圓以上になると一寸贈つても悪くない等々、種々の品はあるが

『新京』でも店によつては高級品のみ扱ふところと中等品を扱ふ店があり新京百貨店內の商店は一般に購人向きの中等品を多く揃へてゐるが相場は昨年に比べて約五分から一割位の騰りで、その原因は、內地の問屋すじがインフレを見透して資金化を『警戒』し投げ物を出さぬためで、綿糸布のみは問屋筋の倒產者が出たため投げ物が出て昨年より五分方値下りを見せてゐる

街の日記

衛生係が道路掃除に乘出

新京滿鐵衛生係では市內道路塵芥掃除の徹底を期するため三日から毎日臨時人夫二十五名を使用することに決定した掃除方法は先づ市內の西方西四條から順次東に向け掃除を行ふがこの際特に各家庭では室內の掃除をなし道路に吹き飛ばさない様に心がけてもらいたいと

新開樓の花蝶 無斷外出

城內西五馬路料亭新開樓こと結城ハツエさん方抱へ藝妓花蝶こと金龍ツルノ(二〇)は二日午後二時三十分ごろ無斷家出し行方不明となつた、同家では前借を踏倒し逃走したものとて直に取押へ方を新京總領事館署に願出た

家庭用光線療器の特賣 難病患者の福音

最近光線による治療法にて治療醫學界に一新紀元を劃した專賣特許家庭用放射光線療法器ラヂオレーヤーは神經痛、リウマチス、呼吸器系諸病、痔疾、淋病、動脈硬化、其の他各種の難病に卓効を奏し世界各國に於て盛んに使用されつゝあるが此の療法の特殊な點は家庭の電燈線を應用して强力なる光線を發生せしめ此れを直接疾患部に透入せしめて治療するので全然醫學の知識のない何人にでも使用出來る點である新京朝日通り新興洋行では今回同器の滿洲國一手代理店を引受け最初宣傳の意味にて三割引の大特價を以て今回賣出しを開始したが斯る有益なる家庭治療器の出現は實に難病者の福音と言ふ可きである

人氣の汽車食堂 店名懸賞募集

開業以來益々營業發展し遂にホール狹隘より大新築をなし店舗移轉を機として皆樣の食堂たる意味に於て新店名懸賞募集と言ふ汽車食堂の店名募集は本紙を以て發表するや既報の如く連日數百通舞込み豫想外の人氣であり熱心な讀者顧客よりの投票机上に山積し目下整理中であるが〆切りは三日で發表は五日附本紙夕刊であり、三日附投函消印あるものは有效と成つて居る、更に同店主は熱心なる投稿者に對し選外者共全部記念と謝禮の意を以てコーヒー券及びハンカチーフを進呈する筈である

拾ひもの

▲日出町二丁目十四番地原宗重氏は三日午前一時ごろ日出町二丁目自宅前で自轉車一台を拾つた

盜難屆

▲東二條通四十一番地劉青松氏所有自轉車一台時價二十圓を二日午後三時十分ごろ自宅前で窃取された

▲城內電燈廠工務科勤務山下喜代正氏所有自轉車一台時價六十圓を二日午後十一時ごろ東二條通五十一番地先で窃取された

▲東三條通四十番地朝鮮冷麵業金炳方氏所有自轉車一台時價二十圓を三日午前二時ごろ自宅前に置てあるを窃取された

生れてこゝに半歳の 新京兵士ホーム 兵隊さんから感想、希望を求む

新京兵士ホームではいよいよ開設後半年を經、その內容も段々充實し、利用者も多いが、今日までの兵士のホームに對する不平は、全然金をとらぬので氣の毒で、折角ホームの前まで來ても入らずに歸り、若しホームの婦人から、「お這りなさい」と言はれてやつと勇氣が出るとの聲もあり今回五日から兵士の半ヶ年間のホームの感想、今後の希望を備付けの箱に投入してもらひ今後の改善に資することゝなつた

商議會頭は なほ混沌の中にあり 目下の情勢である

新京商工會議所理事者改選について既報の通りであるが穴澤氏は若し當選しても辭退するであらうし、その他昨報の下馬評中二、三人の者は會頭としては如何かといふ人もあり彼末、栗原兩氏の調停斡旋係りの世話も余り進んでおらぬらしく、目下の狀勢では結局落着くところに落ち着くからと樂觀者と、時節柄人物中心主義で行けとの二派あり、この重箱の中味は結局開けて見ねば判らぬと云ふのが

自轉車の盜難 めつきり殖ゐる

最近頻々として自轉車の盜難が新京署に屆けられ同署司法係では極力犯人捜査に努めてゐるが盜難時間盜難場所を見ると時間は午後九時から午前二時の間で路上に置いてあるものが多い盜難にかつた自轉車の多くは錠をかけておらないところから自轉車所有者は特に注意をなし路上に置く場合はちよつとの間と云はず必ず錠をかけることが肝要である

于靜遠氏 公使館參事官に內定

協和會總務處長理事兼中央事務局委員于靜遠氏は今回駐日滿洲國公使館最高參事官に任命されることに內定、數日中に發令を見る豫定であるが、同氏は未だ三十四歳の青年で識見高邁大亞細亞青年聯盟主唱者を以て知られて居り、今後の活躍は各方面より期待されて居る 尚同氏は目下奉天に出張中で數日中に歸京の模様である、右につき山口中央事務局長は語る

于靜遠氏は御存知の通り建國の元勳于沖漢氏の令息だが建國當初二回に亘り渡日日本の中央要人等にも相當知己もあり又獨逸には三年間留學し歐洲事情にも精通して居るが青年外交家として眞面目な點、識見抱負共に申分ない人と信ずる、協和會としては就任後も理事及び中央事務局委員の要務を兼攝して貰つて會の發展に盡力して貰ひたいと思ふ

五、一五事件の 古賀、澤田兩中尉 ハルピン江防艦隊で活躍

非常時日本を鮮血で染め一世に衝動を與へた五、一五事件に關係し事前待命となつた古賀忠一(二六)、澤田(二六)兩中尉は更生の生涯を新興滿洲國の海軍に捧げるべく十一月末來滿し滿洲國軍政部の聘入りで江防艦隊の要職に就任することに決定、現在ハルピンに在つて新らたな希望に燃えい勇躍任務に服して居る

正義團支部設立を 通化縣當局で不許可 今後の推移各方面で注視

奉天に本部を、全國各地に支部を有し團員十數萬と稱せられて居る大滿洲正義團は、酒井榮藏氏を盟主として日滿兩國のため活動を續けて居るが最近滿洲國通化縣當局は、同地に正義團の支部設置を拒み支部責任者の退去を要求した事件が表面化された、即ち正義團本部より派遣された通化支部設立責任者とも云ふべき滿人高俊九は最近同地に赴き團員募集の結果約三百名を獲得し五百名に達すれば本部より酒井盟主以下幹部を迎へ誓盃式及支部發會式を行ふ段取りになつて居たが、右俊九の行動及團員の動靜を監視中であつた通化縣當局は突如同人及團員に對し、十一月二十日附けを以て支部設立を不許可とし、團員に解散を命じ、高俊九に對し五日以內に同地より退去を命じた爲め、遂に通化支部設置は實現不能となつた、右通化縣當局の設立禁止の理由は

一、高俊九の言動及團員の行動は同地治安維持會の治安工作に抵觸する

一、馬、匪賊も同團に入會すれば生命、財產を保證すると云ふが如き惡影響を與へたること

一、同人及團員の行動が同地市民に不愉快な結果を招いたこと

等であるが從來屢々同團員にとやかくの噂があつた折柄前記通化縣當局の英斷は各方面から興味の的となつて居る

新任〇〇〇〇隊司令官 佐藤武田兩中將來滿

【東京三日發國通】新たに滿洲に新設された第〇〇〇〇隊司令官は二日左の通り發令された

參謀本部附中將 佐藤三郎 補第〇〇〇〇隊司令官

近衛師團司令部附中將 武田秀一 補第〇〇〇〇隊司令官

尙兩中將は兩三日中に東京發滿洲に向ふ豫定

新京署緊張

新京署では三日午前十時から日曜日にかゝはらず高山署長以下各幹部が出署し年末賞與の割當の査定會議並に臨時幹部會議を行つた

大每二記者 挨拶に來社

大阪每日新聞東京日々新聞新京支局詰となつた原田稔、引田哲一郎兩氏は著任挨拶に三日本社へ來訪した

大同大街の 照明近く實現 本年內に工事完成

滿鐵で計畫中の中央通延長、大同廣場に至る大同大街の電氣照明工事は道路工事のためおくれてゐたがいよいよ年內に完成することに決定、これが一齊に點燈することになれば滿鐵新代用社宅、軍司令部官舍など附近居住者への便利はもちろん夜の新京に一層の美觀を添へることになるであらう

歳の瀬 難戰圖(なんせんず)(五) お隣の藥店が祟つて 賣れない食料品店 大賣出しの卷

一年間の總決算、帳尻の整理のため年末のボーナス月を覗つて行はれる商店の歲末大賣出しは、一日の呉服洋服類から開始された商店の誓文拂ひは、その起源は京都で、今から三百年前に始まり、一年間の顧客への報恩の意味で安賣りしたものであるが、最近では商法の一つとして行はれる様になつただから ここに紹介する様な賣出し難戰圖もあると云ふものである

▽……△

これは市內の或食料品店であるがその店は宣傳もし、福合大賣出しにも參加して、一等一千圓の商品券を安物の罐詰位で釣らうと云ふ客の射倖心を覗つて賣出したが不思議なことに客足が惡く同じ町內の他の店も、朝から晩まで「イラッシャイマセ」を連呼してゐるのにこの店は一日の中に十ぺんも言へば良い方である、店員のサービスも帳場の若い美しい細君も客を呼ぶのに申分なしの條件を備へてゐるのに不思議なことだと、種々考へて見たが判らない、景品券は何百枚となく預つてゐるが、未だ殘りが山の様にある、さうさう判らぬ儘に過ぎてゐたが或日主人が所用があつて外出しブラリと歸つて來たところ、フト自分の家の前に立止つた彼は賣れない原因が判つた

「アッ判つた」

道理も道理、その店の東隣りが藥店で、胃腸病や、治淋藥の廣告がズラリと並び、その店の表の大きな立看板には「食ひ過ぎ、食當りの妙藥云々」と麗々しく書いてある

▽……△

彼は藥店の隣に食料品店を開業したことを今更の様に悔んだが追付かない、と云つて隣の立看板や陳列を撤させるなんて、お互の商賣上出來ない、藥鋪を變へることも出來ぬしと云つて移轉するにしても家もなく、あつても高い權利金が要るそこで、今の中に此家を商品のまゝ賣渡すことを考へついて賣りに出した、果して高く賣れるかどうか、商賣もつらいことではある

▲……▼

これも市中のある呉服店の話である

「いらつしやいませ」と景氣良く呼び込んだ一人の婦人客、見れば何時も來る〇〇氏の夫人であるが、今月は先月分の貸と共にすでに二百圓餘りの貸が出來てゐる、これ以上貸せば年末に半分もとれないことは判つてゐるが、帳場が心配してゐる中に、番頭はお客の需めに應じて布をスカスカと切つて了つた、今更貸せませんと云へば前の子を殺しさうだし、でなくても布は切つて了つてゐる

▲……▼

間もなく客が歸つてから帳場の大番頭氏溜息をついて曰く、「せめて景品券でもやらねば良いのにたとへ帳づけでも買つて呉れた以上、お顧客だからやらぬわけに行かず、あの人に一千圓の商品券が當つて、家の借金を拂つて呉れるならとにかく、そんなものは他の店で使はれて了ふ、あゝ年の瀬はつらい」(續く)

花街の噂 猥談の名人

われわれのちよいちよい接觸する人々のうちでワイ談のうまい人がなかなかたくさんあります、たとへばエス代表、チイ院長、エス大尉なんて數へると兩手の指を折つてなほあまるくらゐです、チイ支社長、エス支社長なんて相當なものですが、實地よりも創作が多いんです

×

創作と實地を研鑽したものは聞くものが聞いてゐれば自然その間に判然と相異なることが聽取されます、今は鳴りをひそめて居りますが、長春時代の花柳界でワーさんと云へば恐れられたその人なんか理論と實際と相俟つて一聽三嘆に値するものがあります

×

新京となつた今日の花柳界あまりに數多いので、その內にかくれたるワイ談の名人が潜んで居るかも知れませんが寡聞にしてどこの誰々とここに數へあげることが出來ませんこの寫眞の主は嬉野の市丸姐さんであります、傳へられるところによりますと本道の方はモテであるさうですが、ワイ談もなかなか堂に入つたものださうです、嬉野支店開業以來の家附きです

ラヂオ

四(月曜日)新京
午後五時〇分子供の時間(奉天より)
同五時三〇分ニュース(英語)
同五時四〇分ニュース(露語)
同五時五〇分ニュース(鮮語)
同六時〇分ニュース(東京より)
同六時二〇分語學講座(滿語)講師 高宮盛逸
同六時四〇分語學講座(日語)講師 植松金枝
同七時〇分演藝(滿語)蓮香班 開花
同七時三〇分講演(滿語)心靈學 大同報記者 王冠三
同八時〇分ニュース氣象豫報、番組豫告(滿語)
同八時三〇分時報(東京より)
同八時三一分ニュース(東京より)
同八時四五分ニュース氣象豫報
同九時〇分演藝清元明烏花濡衣(明烏下)淨瑠璃高柳、三味線清元延寅子、上調子泰兼勇、引續きプロクラム豫告

慶安異聞 艶魔地獄

（舞台上演映畫化）　玉水三郎　（畫）長谷川小信

（百九）

秀忠法要（二）

彥左衞門が吞氣な一言に、久米の平内は何の要領も得ず、暇乞ひ早々大久保邸を出た。

そして取敢ず淺草新鳥越の、唐犬權兵衞方へ立寄つて、容子を聞かうと思つた。

權兵衞方では家主預けの、お八重が謹愼中である。其他は相變らずワアワア言つて賑やかなものだ。

「オヽ白山の先生がお越しだ……さアお上り下せへやし」

「親分、白山の先生がお出でになりやした」

「離れの先生にも申上げにやなるめえ」

久米の平内は權兵衞の居間へ通ると、唐犬は喜んで、

「ヤア先生、今日は私から道場へ出にやならねえと思つてゐやしたに、能くお越し下せえやした」

「オヽ權兵衞、今駿河臺へ行つてすつかり話を聞いて來たが、大久保老人何でも知つてゐなさる」

「左樣でしたかい。今度の事は全く深見先生が、自分が正直だけに青山主膳に一杯食ひなすつたんでげす。だが先生も却々食へねえや、青山の方へ味方したやうに見せかけて、飮めるだけ振舞酒を飮み倒してやると仰しやつてよすと」

「アツハヽヽヽ、流石深見重左衞門だ。それはさうと身共の道場が立行かんやうになつて來た」

「へエー、そりや又何ういふ譯で」

「青山めが旗本仲間へ手を廻して、謀叛人の味方する、謀叛人の眷顧を庇ふ久米の平内。あの樣な人物の門弟になる者は、誰かならん人物だと斯う申して、暗に身共道場の弟子を非難するので、旗本の子弟は五人減り、十人減り、百人も道場を去つたではないか」

「へエーそれは大變、然し憎い奴は青山主膳。卑劣千萬な、何うして吳れやう」

「其事を今日大久保老人へ訴へに參つたのだ」

「彥左衞門樣、御立腹なすつたでせう」

「處が時節を待ての一點張りで、何とも仰しやらんのだ」

「若しや彥左衞門樣も、青山の方へ卷込まれたんぢやありやすめえかね」

「まさか其の樣な事はなからうが身共道場が行き立たぬ」

「大きに御道理な次第です。寧その事俺共が青山の邸へ斬り込んでやりませうか。表面は女房お八重の姉、お菊を殺された其仇討だと言つて……」

「イヤ左樣な亂暴をしては困る。」

「右も左深見にも會つて、一つ相談をしやうか」

「それが宜しうございます。さア離れへお越し下せえ」

深見重左衞門の居間へ、久米の平内を權兵衞が案內する。

其處にはお八重が、茶を入れて話相手になつてゐた。

「深見、貴公青山に騙されたさうだな」

「ヤア平内。一時は欺かれたが、それと判つてからは、此方も用心してゐるから大丈夫だ」

「それはさうと、獄中にある小島三平、子供を抛いて哀れなものだ。身共道場の事よりも、此方を何とか早く救ふ法はあるまいか。其相談もあり、やつて來た」

「そりや、大久保老人に頼み込んだら可からう」

十二月四日 月曜　舊十月十七日　甲辰　友引　執　畢宿

●一白の人　信用を破壊せざる樣和合　專一に身を修めよ　辰と丙と癸が吉

●二黑の人　四圍の迫害多くて自由ならざる日　又病厄注意　甲と乙と寅が吉

●三碧の人　目上の信賴を失ひ煩悶に終始せんとする日　乙と庚と癸が吉

●四綠の人　運氣逆轉して百事思ふまゝならぬ日　爭注意　乙と辰と庚が吉

●五黃の人　進展力薄弱にして充分ならざれども焦るな　卯と乙と丁が吉

●六白の人　運氣旺にして堅實に進めば名利行はるゝ日　甲と丁と未が吉

●七赤の人　活氣横溢の日にして進むに大吉起業尤宜し　丁と未と寅が吉

●八白の人　天日の暗雲に閉ぢらるゝ如し日射を待べし　甲と丁と丑が吉

●九紫の人　希望計畫の達成せらるゝ大吉日耐忍努力吉　乙と庚と寅が吉